

第3回「新スポーツ推進計画（仮称）」策定部会議事要旨

1 日 時

令和元年9月30日（月）14：00～16：00

2 会 場

OKBふれあい会館第1棟4階「401」小会議室

3 出席委員（代理出席2名）

西本裕委員（委員長）、山本英弘委員（副委員長）、日下部光委員、亀山鉄也委員、坪井朝啓委員、中島洋之委員、藤原謙介委員、中川雅洋委員、中村俊彦委員、丸山智則委員

4 会議の形態

非公開

5 議 題

- (1) 現行計画の達成度・評価、課題、方針について
- (2) その他意見交換

6 議事要旨

（事務局）

- ・現行計画の達成度・評価、課題、方針についてのダイジェスト版を第4回策定部会でまとめ、令和元年度岐阜県スポーツ推進審議会に進捗状況を報告する。
- ・岐阜県スポーツ推進審議会でもいただいたご提言を反映させたダイジェスト版を、第2回策定委員会で報告する。

(1) 現行計画の達成度・評価、課題、方針について

【競技スポーツの推進】

○全般について

（委員長）

- ・プロスポーツとトップリーグ参戦チームが情報交換できる「トップ会議（仮称）」を設けることはできないか。

（競技スポーツ課）

- ・「トップス広島」（広島カープやサンフレッチェ広島など）を参考に検討している。

○優秀指導者の育成について

(副委員長)

- ・県外の優秀指導者が県内の選手を指導する機会を設け、県外優秀指導者の指導方法を学んでもらうことは可能か検討いただきたい。

【地域スポーツの推進】

○スポーツに関する情報発信について

(副委員長)

- ・市町村とスポーツ情報の共有が必要。
- ・行政の発行物にスポーツに関する年間スケジュール等を掲載することは可能か検討いただきたい。

(事務局)

- ・アナログ的な情報発信を含め世代に応じた広報活動が必要。

(地域スポーツ係)

- ・県主催スポーツイベントについて市町村との連携強化が必要。

(事務局)

- ・愛知県ではスポーツ情報をダイジェストとして定期的に提供している。

(地域スポーツ係)

- ・県も導入を検討していく必要がある。

○レクリエーションスポーツの普及・推進について

(ねんりんピック推進事務局)

- ・さらなる普及拡大に向け各年代に応じた広報活動が必要。

(委員長)

- ・ビジネスパーソンを対象としたレクリエーションスポーツを企業内で行えるような取組みを検討いただきたい。
- ・企業対抗スポーツイベントの開催を検討いただきたい。
- ・障がい者への普及・推進のためには障がい者スポーツ協会との連携強化が必要。

【学校体育の推進】

○学校における体力づくりの推進について

(学校体育係)

- ・運動好きな児童生徒を増やす取り組みが必要。
- ・チャレンジスポーツ in ぎふは、新体力テスト種目を取り入れ実施する。
- ・わが校体力プロジェクトは廃止の方向。

(委員長)

- ・測定記録共有システムを構築し、選手発掘の参考にしていただきたい。

(事務局)

- ・現行計画の柱にとらわれない連携が必要。

(副委員長)

- ・測定記録を個人にフィードバックすることで、目標を立てやすく好結果に繋がるシステムを検討いただきたい。

○外部指導者の活用について

(学校体育係)

- ・部活動ガイドラインに沿った研修会等の継続実施が必要。

【障がい者スポーツの推進】

○全般について

(障害福祉課)

- ・ボッチャは関心が高まってきており普及活動が活発である。

(委員長)

- ・障がい者と健常者が共にスポーツできる取組みを検討いただきたい。

(副委員長)

- ・普及・推進に県内大学の活用を検討いただきたい。

(地域スポーツ係)

- ・普及・推進には拠点クラブや総合型地域スポーツクラブとの連携が必要。

(委員長)

- ・普及・推進には地域のスポーツクラブと地域社会の連携強化が必要。

○障がい者スポーツ大会等の充実・参加促進について

(障害福祉課)

- ・参加者数増加には障がい者スポーツ協会と連携し、体験の機会や場を設けることが必要。

(ねんりんピック)

- ・参加者数増加にはボッチャ等を競技種目に取り入れることが必要。
- ・競技補助員などスポーツを「ささえる」ことから普及・推進につなげる。

○障がい者スポーツを支える組織づくりについて

(障がい者スポーツ係)

- ・競技力向上に関する取組みは競技スポーツの推進に位置づける。
- ・経営基盤の強化もしくは選手の発掘・育成のどちらに重点を置くか検討している。
- ・障がい者クラブチームの県協会・連盟へ組織化促進に向けた運営支援が必要。
- ・団体未設置競技について設立支援が必要。

○専門指導者の養成について

(副委員長)

- ・障がい者スポーツの指導項目が盛り込まれた指導者研修会等の開催を検討いただき

たい。

○選手の育成強化について

(委員長)

- ・パラスポーツは競技スポーツの推進に位置づけるよう検討いただきたい。
- ・障がい者スポーツと健常者スポーツの枠を超えた各協会の協働が必要。
- ・高度障害者への支援も必要。

【スポーツによる地域振興】

○全般について

(委員長)

- ・地域に根ざしたスポーツの普及が必要。

(地域スポーツ係)

- ・ぎふ清流都市対抗駅伝は、スポーツによる地域振興・スポーツによる地域の絆づくりとして位置づけるよう検討いただきたい。

○スポーツイベントの誘致及び開催について

(副委員長)

- ・スポーツイベント開催の専門家をアドバイザーとして招聘してはどうか。
- ・スポーツ交流人口の拡大に有効な施策について、県と共通点がある都道府県との連携が必要。

(スポーツ交流係)

- ・県主催のスポーツイベントが県民の関心を誘う内容か検証が必要。
- ・トップアスリートの合宿誘致がスポーツをはじめのきっかけとなるようなイベント等の開催を検討している。

○スポーツツーリズムの推進について

(事務局)

- ・「スポーツコミッション連絡会議」における先進事例を参考に、より効果的な仕組みづくりを推進していくことが必要。
- ・他課と連携が必要。

○地域のスポーツイベントへの参加促進について

(委員長)

- ・市町村と連携を図り新たな取組みを検討いただきたい。
- ・ぎふ清流都市対抗駅伝を活用いただきたい。

○プロスポーツチーム・日本リーグ在籍チームを核とした絆づくりについて

(委員長)

- ・各チームへの支援方法を検討いただきたい。

○スポーツイベントの誘致及び開催について

(委員長)

- ・広報予算を有効活用することで効果的な事業アピールとなる。
- ・Web ページやマスメディア、SNS の有効活用を検討いただきたい。

(スポーツ交流係)

- ・広報活動について様々な方法の検討が必要。

【スポーツ環境の整備】

○全般について

(委員長)

- ・多目的トイレを含めた汎用トイレの整備（モデルとなるようなトイレ）が必要。
- ・大規模イベント開催時の導線を考慮したトイレの整備を検討いただきたい。

(施設管理・整備係)

- ・セクシャルマイノリティの方が利用できるトイレの整備は、課題の精査が必要。
- ・新設の多目的トイレはオストメイト対応トイレを設置している。
- ・多目的トイレを整備した県有スポーツ施設では障がい者スポーツ大会を開催している。

(副委員長)

- ・岐阜メモリアルセンターの駐車場不足やアクセス方法などを改善し、利便性を高めていただきたい。

(事務局)

- ・FC岐阜主催試合や清流ハーフマラソンではシャトルバスを運行させるなど岐阜メモリアルセンターへのアクセス方法の改善を図っている。
- ・岐阜メモリアルセンター周辺の駐車場確保に努めている。

【その他】

○ダイジェスト版作成について

(事務局)

- ・現行計画の項目、章立てについて各課、各係で検討いただきたい。
- ・ダイジェスト版作成について以下の点に注意
 - 1 他課、他係との連携についての検討
 - 2 項目に対する課題・方針の作成
 - 3 要点を分かりやすくまとめる
- ・ダイジェスト版は、令和元年10月11日（金）17時までに提出いただき、第4回策定部会で検討する。

(以上)